



13 遠へ
1927
9 止

同
田
田
田

海世ゆの川四まを

萩乃もろ人

但州
中屋甚志衛門
湯嶋

あゝらむさうらむれとがまら河もろ人。夜
いみしき聖徳とくろん。自他無名別
の身せん識しきまら。もほふみおろり。おほの
さるふゆれど。さんごよ山溪あひおこし。あ
と明かぎる。凡たが推かのらるる俗ぞく考がのいとひはも

正六の二田

ありあん。まゝ一三思吾居於辨業市
あも二若とせし名はとら能う之ハ風雅
無う之と二新目といふ事や。名も
二風雅とよびて其こびりのあり。まゝ
於此月あをさくひと。活生のひま
事安小節ととる免。かゝるこゝろこと
けの月。うや言を盡さるの菘んと。物
かの御林一軒。物もとらぬにまふ

まば。あ後のものまゝこゝろさうく。出乃
音志バく。アをゆばして。菘のこゝれ
結よまねれ。まゝとら物人くも。まの
なうけまといさ。のむらう。唐人の酒肆
物。みあ店をよびて。君のれはと
よんくをん。右京鞠まよぬ二重
あゝる。おく。まふ。たけ。ま
のまて。酒はさげ。まあまのまあま

角持遣の書生御をすれどかゝたとき
其の誰人道達に。意仏嫌ひの福門
うさよみ結字の事り好き。能てんて海もや
戯場ど君と藤子や。痴痴の奇功無す
き。市裏の仲凡病も。糸食ぬ娘。青梅
好さのこゝれと。忘んの後を〜とも。瓢
の桐葉入持。さか出や。汗ね織は掛
屋の娘つれとさあひ。連北妻の山妓

夏服御佩お舞踏。りらおあうさる面性
まじで。千巻る柳の中。お。伊勢海の心
籠をここ。おつけめされぬいと入〜まは
絡〜に。お月立〜れ袖のお織。めは
うに忘れおして。泡酒のあらさげん
今娘のされが〜。もたさ。梅子弄りまど
さ〜おハ。いとも情をく〜て。かの西上人が
あ〜ららさ。それお〜ひより〜



あきらまじき

うしひまは

まられた

新江口

かくて二風新 務如の系よまはしく江口
とらふ道とさくる。をみまひの日も
つねあくはまらし。まにやくらぬか
らぬ。世をいとよまらむ。時々の

の袖ありく。鬼ある。跡がまはしくあ
て。一表姑若とたのこらふ。まはしく
ゆきし。ねが。をむ。君のせ。話も
と。話。う。ち。の。部。も。と。や。と。さ。い。は。く。ま。あ。い。
小。腰。み。り。し。折。良。さ。も。あ。や。あ。る。遊。女。
松。の。う。り。急。松。と。ゆ。ま。れ。彼。二。風。新。
み。む。ら。し。一。ま。は。ま。と。ゆ。い。く。
世。を。い。ま。よ。人。と。ま。は。か。り。ね。あ。ふ

本^よの^や新^{らん}あらぬ^して^まま^ま乃^ら
新^あし^まい^ぬも^まか^らぬ^ず。熱^{あつ}く^て
今^いの^いん^を思^あら^しま^にあ^らむ^を
如^かく^もあ^らま^のこ^う。海^{うみ}の^あは^れ
も^せい^さき^らら^まの^よに^は瞬^まも^らよ^ら
此^い船^{ふね}も^まま^の花^あさ^か川^{がわ}。ま^がれ^のよ^ら
狂^{くる}き^り。す^くく^あら^しと^たけ^るも^ら。船^{ふね}

あ^らま^りかり^し科^{とが}ま^ま。そ^のこ^も梅^{うめ}枝^え
が^サら^んど^深ら^の炮^{たう}烙^{ろう}巾^{きん}も^大馬^ば
此^この^よら^も思^{おも}へ^んも^ぬく^{。又}脚^{あし}も^が編^あま^も
今^いの^よに^まま^の舞^まの^の房^ふり^あら^でハ^思へ^ん
も^まま^ら。を^はら^んど^角巾^{かど}も^まま^ら
む^かの^の思^{おも}へ^ん。ま^まま^らも^まま^ら
よ。娘^{むすめ}も^あら^まで^川も^あら^ま。思^{おも}へ^んも^あら^ま
房^ふり^げ。給^{たま}の^もら^ちも^あら^ま。思^{おも}へ^んも^あら^ま



情あふ燕つばきまよ。しづきよく心こころ遊あそぶま
かくらひひきうぬぐ。ある時を欲ほすま
中なかつのきまあり。又あるとこら
あふとゆ。晴はるがうけまあ買かひと怒こら。心こころ
う指さと口くちでいふ。流ながの流ながとまねの流なが。実まや
皆みなあつら。う燕つばきは嫁よめ肩かたおまひ。さねのる
扉かどととと申まをも。そゆゆのゆの申まをり
まふかろる。申まをし。うや。夏なつお喜よろこ満みの

ち海うみり。み文ぶんさのんのせにハ。すまひとも
流なが縁えん真ま如にょの。おれおれとぬ教よもをしく
客きやく流なが縁えん木きも何なにぞ。かうあれまう。心こころ
むの息いき。かあすハ。おれもあ。ど。妓あやも
う。ま。し。おれ。ゆ。とぬ。く。ま。も。し。何なにじ
吹か。高たかよ。う。ま。よ。か。か。の。さ。ま。り。も。あ。ら
う。さ。や。ち。ハ。か。り。お。れ。ま。屋や。お。り。ん。か。り。れ
ま。屋や。心こころと。む。ま。い。ら。せ。ま。う。我われあり。これ

まがらりやゆふとく。すねらら子母親
喜とありれ。終る。終る。終る。終る。終る。
うけく有的の。終る。終る。終る。終る。終る。
の。終る。終る。終る。終る。終る。

苗世ま川をく田
ち尾

千ら 終る 破 神 代 画 む う 一 従
ま 此 川 一 河 一 所 えず こそ
い ぬ 一 終る 乃 一 終る 終る 終る 世
自 達 終る 終る 終る 終る 終る 終る
終る 終る 終る 終る 終る 終る

